

Mr. William D. Magwood, IV
(ウィリアム・D・マグウッド四世)



米国エジソン電気協会（E E I）にて電気事業と原子力政策に関する研究に携わったのち、エネルギー省（D O E）に転じ、政府の原子力技術に関する上級エンジニア、エネルギー省長官の原子力技術政策上級アドバイザー等を歴任。米国における原子力技術の衰退を食い止める教育プログラムの再構築に尽力したほか、「原子力 2010」、「第四世代（Generation IV）原子炉」といった同国の主要な原子力技術開発プログラムの策定を主導した。また原子力の国際技術協力も強く推進し、経済協力開発機構（O E C D）の原子力エネルギー運営委員会委員長などを務めている。1998 年から 2005 年までの間エネルギー省（D O E）の原子力エネルギー局長を務め、二人の大統領と 5 人のエネルギー長官の下でその職責を果たした。2010 年 4 月 1 日、アメリカにおける政府独立機関の一つで、同国の原子力安全に関する規制監督業務を担うアメリカ合衆国原子力規制委員会（NRC）委員に就任。任期は 2015 年 6 月まで。

(米国 NRC ホームページより抜粋)